



紅白の新ナショナルジャージ同士の対決
男子ジュニア スプリント1/2決勝の雨谷(右)と深谷

シクリスムエコー No.142 2007年9月号



第27回アジア選手権自転車競技大会トラックレース …… 2
第14回ジュニア・アジア選手権自転車競技大会



第27回アジア選手権自転車競技大会ロードレース …… 7
第14回ジュニア・アジア選手権自転車競技大会



第63回 全日本大学対抗選手権自転車競技大会 …… 8

第15回 三笠宮杯 ツール・ド・とうほく …… 10



2007年 MTB 世界選手権大会 …… 11
第42回 全国都道府県対抗自転車競技大会 …… 12



第24回シマノ鈴鹿国際ロードレース大会 …… 13
競技大会結果 …… 14
各大会日本代表選手団 …… 15
連盟の動き …… 16



KEIRIN



この広報誌は、「競輪公益資金」の補助を受けました。

<http://keirin.go.jp>
<http://ringring.keirin.go.jp>



第27回アジア選手権自転車競技大会 第14回ジュニア・アジア選手権自転車競技大会

TRACK RACES



男子ジュニア ケイリン決勝 1位(右から2人目)の深谷、2位の雨谷(左から3人目)

今年のアジア選手権トラックレースは9月3日から6日までの4日間、タイ・バンコクのファーマーク自転車競技場で、12の国と地域、212名の参加で催された。来年の北京五輪に向けアジア各国が選手強化に力を入れレベルアップしている中、今や日本もメダル獲得が厳しい状況での開催である。

日本選手団はJCFナショナルディレクター・マニエ氏のもと、直前の合宿を日本サイクルスポーツセンターで8月20日から29日まで10日間行い、このアジア選手権に臨んだ。タイのバンコクは気温が高く、日中38度・湿度70～80%という環境のなか、選手達はこの暑さのためコンディションを保つのは相当苦労したと思われる。

男子エリートはスプリントで北津留と渡邊が1・2位となり、北津留はこの種目アジア選手権3連覇を飾った。期待されたチームスプリントは長塚・永井・大森のメンバーで予選3組に出場し、中国に続き2位のタイムであったが、選手の離脱違反で最下位降格の8位となってしまった。またスクラッチでは角が健闘したが、ゴール前マレーシアのSALLEH Mohd Harrifに、僅かにさされて惜しくも2位となった。この種目世界チャンプの香港のワン・カンポーは振るわず7位に終わった。マディソンは飯島・盛が積極的な走りを見せ健闘したが、韓国に1点差で惜



男子エリート ケイリン決勝 2位の伏見(右から3人目)と4位の井上(右端)

しくも敗れた。ポイントレースは積極的に攻めた盛・飯島だったが、2・3位の結果となり、台湾のFENG Chung Kaiが上手くレースの流れに乗り金メダルを手にした。最終日に決勝が行われたケイリンでは、井上が先行し伏見が番手に回り、4コーナーでは好位置からのゴールスプリントになったが、後方にいたマレーシアのAWANG Mohd Azizulhasniがゴール前に伏見と井上の間を突き金メダルを獲得、伏見・井上は2・4位に終わった。

女子エリートは佃がケイリンで2位、スプリントでは中国との脚力の違いを

見せられ4位という結果であった。和田見は、暑さに苦しんだが、4分を切るまずまずのタイムで個人追抜3位、またポイントレースでも3位となった。

ジュニア男子ではケイリンで深谷、雨谷が1位2位。チームスプリントでも雨谷、深谷、山下が1位。スプリントは2位雨谷、3位深谷。1kmタイムトライアルでは深谷が3位。スクラッチで吉田が3位となりメダルラッシュとなった。

ジュニア女子は針谷が2km個人追抜競走で自己ベストには及ばなかったが2分48秒03の記録で6位となった。



男子エリート スプリント1位の北津留(手前)と2位の渡邊



男子ジュニア スプリント2位雨谷(右)と3位深谷



女子エリート スプリント4位の佃(左)



男子エリート 団体追抜4位の飯島・盛・角・倉野



男子ジュニア チームスプリント1位の雨谷・深谷・山下



男子エリート チームスプリント降格8位の長塚・永井・大森



男子エリート 男子ポイント 2位盛(先頭)と3位飯島(3人目)



男子ジュニア ポイント 6位巖田(左から2人目)と吉田(中央)



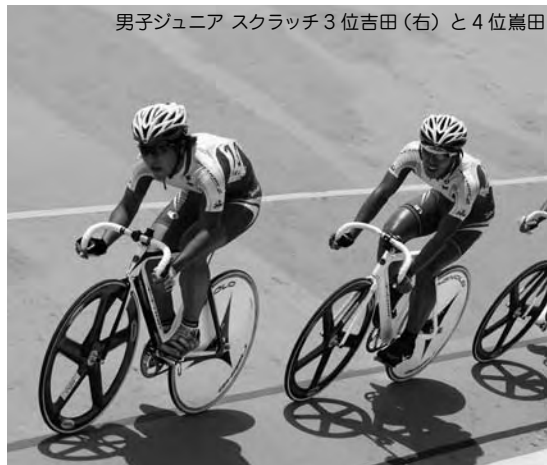
女子エリート ポイント 3位の和見(先頭)



女子ジュニア ポイント 6位の針谷(中央)



男子エリート スクラッチ 2位の角



男子ジュニア スクラッチ 3位吉田(右)と4位巖田



女子エリート スクラッチ 8位の和見(中央)と応援する飯島



男子エリート マディソン 2位の飯島(左)と盛



男子ジュニア マディソン 5位の吉田(右)と巖田

男子ジュニア 1kmTT 3位の深谷



男子ジュニア 個人追抜 5位の巖田



男子エリート 個人追抜 8位の倉野



男子エリート 1kmTT 4位の中川

女子エリート 個人追抜 3位の和田見



女子ジュニア 個人追抜 6位の針谷



第27回アジア選手権自転車競技選手権大会・第14回ジュニア・アジア自転車競技選手権大会 日本代表選手団

大会名 第27回アジア選手権自転車競技選手権大会・第14回ジュニア・アジア選手権自転車競技選手権大会
 開催場所 トラック:タイ・バンコク、ロード:タイ・ナコンラチャンマ
 大会期間 トラック:2007年9月3日~6日、ロード:2007年9月8日~10日
 派遣期間 トラック:2007年8月30日~9月8日、ロード:2007年9月3日~12日
 派遣選手団
 監督 フレデリック・マニエ (JCFナショナルディレクター) コーチ 阿部 良二・福田 公生・三浦 恭資 (JCF強化コーチ)
 メカニック 森 昭雄・鬼原 積 (JCF強化スタッフ) マッサージ 柳 浩史・石田 宗男 (JCF強化スタッフ)
 スタッフ 田畑 昭秀 (JCF医科学スタッフ) 総務 三浦 廣信・山田 克彦 (JCF選手強化部)

<トラック>

Elite 伏見 俊昭 (JPCA・福島)・長塚 智広 (JPCA・茨城)・井上 昌己 (JPCA・長崎)・中川誠一郎 (JPCA・熊本)
 大森 慶一 (JPCA・北海道)・渡邊 一成 (JPCA・福島)・永井 清史 (JPCA・岐阜)・北津留 翼 (JPCA・福岡)
 倉野隆太郎 (JPCA・愛知)・飯島 誠 (JPCA・プリヂストンアンカー)・盛 一大 (愛知・愛三工業レーシングチーム)*
 角 令央奈 (兵庫・鹿屋体育大学)・和田見里美 (鳥取・中京大学)*・佃 咲江 (北海道・北海商科大学)
 Junior 雨谷 一樹 (栃木・作新学院)・深谷 知広 (愛知・桜丘高校)・山下 一輝 (山口・誠英高校)
 吉田 隼人 (奈良・榛生昇陽高校)*・巖田 義明 (埼玉・プリヂストンアンカー)*・針谷千紗子 (栃木・作新学院)*

<ロード>

Elite 廣瀬 敏 (石川・愛三工業レーシングチーム)・鈴木 真理 (JPCA・チームミヤタ)
 宮澤 崇史 (長野・NIPPO梅丹エキップASADA)・沖 美穂 (JPCA・ワナビー・メニキーニ)
 唐見実世子 (JPCA・キナンCCD・サッカレリ)・豊岡 英子 (大阪)
 Junior 窪木 一茂 (福島・学法石川高校)

※印ロード兼

【競技結果】 (日本出場種目のみ)

**第27回アジア選手権自転車競技大会
第14回ジュニアアジア選手権自転車競技大会
トラックレース(2007/09/02-06 タイ・バンコク)**

男子リト 1kmタイムトライアル

- 1 LI Wenhao CHN 1:03.915
- 2 KANG Dong Jin KOR 1:05.044
- 3 TISIN Mohd Rizal MAS 1:05.310
- 4 中川誠一郎 JPCA・熊本 1:05.876

男子リト スプリント



- 1 北津留 翼 JPCA・福岡
- 2 渡邊 一成 JPCA・福島
- 3 NG Josiah, Onn Lam MAS

男子リト ケイリン



- 1 AWANG Mohd Azizulhasni MAS
- 2 伏見 俊昭 JPCA・福島
- 3 PARASH Mahmoud IRI
- 4 井上 昌己 JPCA・長崎

男子リト 4km個人追抜競走

- 1 HWANG In Hyeok KOR 4:39.341
- 2 SOHRABI Mehdi IRI 4:46.564
- 3 ZARGARI Amir IRI 4:47.741
- 8 倉野隆太郎 JPCA・愛知 4:55.667

男子リト スクラッチ (15km)



- 1 SALLEH Mohd Harrif MAS
- 2 角 令央奈 兵庫・鹿屋体大
- 3 THEERAWANITCHANAN Suphat THA
- 18 倉野隆太郎 JPCA・愛知

男子リト 男子ポイントレース(30km)



- 1 FENG Chung Kai TPE 89p
- 2 盛 一大 愛知・愛三工業 82p
- 3 飯島 誠 JPCA・ブリヂストン 70p

男子リト マディソン (53.3km)



- 1 韓国 25p
- 2 日本 飯島・盛 24p
- 3 イラン 16p

男子リト チームスプリント

- 1 中国 1:02.059
- 2 韓国 1:03.671
- 3 イラン 1:03.786
- 8 日本 長塚・永井・大森 1:02.212

男子リト 4km団体追抜競走

- 1 中国 4:21.822
- 2 イラン 4:23.497
- 3 韓国 4:26.382
- 4 日本 飯島・盛・角・倉野 4:29.042

女子リト スプリント

- 1 GUO Shung CHN
- 2 ZHENG Lulu CHN
- 3 MUZIZAH Uyun INA
- 4 佃 咲江 北海道・北海商科大

女子リト ケイリン



- 1 ZHENG Lulu CHN
- 2 佃 咲江 北海道・北海商科大
- 3 GU Sung Eun KOR

女子リト 3km個人追抜競走



- 1 LEE Min Hye KOR 3:28.309
- 2 HA Seon Ha KOR OVT
- 3 和田見里美 鳥取・中京大学 3:58.327

女子リト スクラッチ (10km)

- 1 SON Hee Jung KOR 15:56.424
- 2 GU Sung Eun KOR 15:56.513
- 3 TRIKUSUME Santia INA 15:56.583
- 8 和田見里美 鳥取・中京大学 15:58.787

女子リト ポイントレース (24km)



- 1 LI Yan CHN 41p
- 2 WONG Wan Yiu HKG 19p
- 3 和田見里美 鳥取・中京大学 12p

男子ジュニア 1kmタイムトライアル



- 1 BHRUM Mohd Syamil MAS 1:07.039
- 2 LEE Ki Han KOR 1:08.076
- 3 深谷 知広 愛知・桜丘高校 1:08.766

男子ジュニア スプリント



- 1 LEE Ki Han KOR
- 2 雨谷 一樹 栃木・作新学院
- 3 深谷 知広 愛知・桜丘高校

男子ジュニア ケイリン



- 1 深谷 知広 愛知・桜丘高校
- 2 雨谷 一樹 栃木・作新学院
- 3 LEE Eu Ddeum KOR

男子ジュニア 3km個人追抜競走

- 1 SHIN Dong Hyun KOR 3:37.265
- 2 KIM Young Uk KOR 3:40.367
- 3 KHOSROSHAHI Behnam IRI 3:40.380
- 5 巖田 義明 埼玉・ブリヂストン 3:42.55

男子ジュニア スクラッチ (10km)



- 1 BOONRATTANTHANAKORN Thirakit THA 13:10.066
- 2 KIM Young Uk KOR
- 3 吉田 隼人 奈良・榛生昇陽
- 4 巖田 義明 埼玉・ブリヂストン

男子ジュニア ポイントレース(24km)

- 1 KHOSROSHAHI Behnam IRI 65p
- 2 JANNAT Hamid IRI 60p
- 3 SHIN Dong Hyun KOR 43p
- 6 巖田 義明 埼玉・ブリヂストン 22p
- 吉田 隼人 奈良・榛生昇陽 DNF

男子ジュニア マディソン(33.3km)

- 1 タイ 16p
- 2 韓国 (-)20p
- 3 ガブスタ (-)10p
- 5 日本 吉田・巖田 (-)11p

男子ジュニア チームスプリント



- 1 日本 雨谷・深谷・山下 1:05.414
- 2 韓国 1:06.268
- 3 ファイニッシュ・タイハイ 1:03.480

女子ジュニア 2km個人追抜競走

- 1 KIM Eun Hee KOR 2:51.514
- 2 KIM Hye Rim KOR 2:53.858
- 3 YELISSEYE Nataliya KAZ 2:39.944
- 6 針谷千紗子 栃木・作新学院 2:48.03

女子ジュニア ポイントレース (20km)

- 1 KIM Hye Rim KOR 34p
- 2 KIM Eun Hee KOR 28p
- 3 SLOKOTOVICH Mariya KAZ 11p
- 6 針谷千紗子 栃木・作新学院 2p



男子エリート個人ロードチャンピオン宮澤

9月8日、今日からいよいよ決戦の日である。午前9時、ナコンラチャシマ市中心街から30km南西のハイウェイ中央部の2車線を使用して、最初にジュニア女子15kmタイムトライアル(9人出場)が行われた。6番目9時05分、針谷千紗子(作新学院)がスタート、軽快な走りを見せたものの、23分31秒74で5位となった。

また、午前9時45分からジュニア男子28km個人タイムトライアル(17人出場)が行われ、12番目スタートの窪木一茂(学法石川)が38分23秒77で3位となり、ロード競技今大会日本人最初のメダルを獲得した。レース終了後、蒸し暑さによる疲労のためベトナムの選手が倒れ、救急車に収容された。

午後1時からエリート女子28km個人タイムトライアルが行われ、エース沖美穂(JPCA)が出場した。5番目スタートの沖は39分44秒56のタイムで3位となり、日本選手ロード2個目の銅メダルを獲得した。

午後2時30分、エリート男子42km個人タイムトライアルが行われ、10番目スタートの廣瀬敏(愛三工業)がスタートから快調に飛ばしたものの、今一歩及ばず57分29秒42のタイムで6位にとどまった。

9月9日はジュニア男・女の個人ロードが行われた。女子63km(21人出場)は針谷が出場。序盤スローペースになったものの、中盤以降に入りキム・ハイリン(韓国)とスロコトピッチ・マリア(カザフスタン)が集団を抜け出し、逃げを打つ。後続の第2集団は2人を追うことができず、1分30秒以上の差がつき、ゴールスプリントでキムがストロコピッチを微差押さえ優勝。第2集団は13人が団子状態でゴールし、針谷は同タイムの7位となった。

午後1時、男子108km(41人出場)がスタートした。序盤から集団でレースが進み、折り返し前の40km地点で窪木を含め3人がスパートし決まったかに見えたが、折り返し地点に関係スタッフがおらずそこを通り越してしまい、Uターンをしたものの集団から遅れをとった。しかしながら、吉田隼人、窪木、嵐田義明の日本3選手は連携

を保ちながら先頭集団で進み、窪木がアシスト役を完璧にこなして団子状態の中から最後は吉田がゴールスプリントで他を寄せ付けず圧勝した。重圧に耐え、期待に応え、ロード待望の金メダルを獲得した吉田は大物だ。

9月10日最終日は、メインのエリート男・女の個人ロードだ。午前8時30分エリート男子176km(66人出場)がスタート。満を持して臨んだ宮澤崇史、鈴木真理、廣瀬敏、盛一大の4選手が出場した。

中盤まで団子状態が続いたものの、タイミングを計りながら仕掛けるが変化がなく進む。日本勢が集団をコントロールし、残り35kmを過ぎて宮澤、アスカリ(イラン)、チャン・チュンヒン(ホンコン)の3人が集団を抜け出て先頭グループを作り、優勝争いは3人に絞られた。先頭交代をしないチャンは、宮澤、アスカリの連携に退き、ゴールスプリントを制した宮澤が栄光のチャンピオンに輝いた。2個目の金メダルの獲得である。廣瀬が2秒差の5位であった。

午後2時、エリート女子(39人出場)がスタート。沖、唐見実世子、豊岡英子、和田見の4人が出場。エース沖を中心に連携をとりながら進むも集団での変化が見られず、終盤まで同じ状態が続き行ききれない。ゴール1km手前で不意の落車があり、唐見がよけきれず乗り上げ落車。

レースを制したのは、メン・ラン(中国)。アリアス・ノーアジアン(マレーシア)がタイム差なしの2位、沖はゴールスプリントも及ばず4位、和田見は5位、豊岡が13位。

唐見は、ゴール後救急車で病院に運ばれ擦過傷と頭部の検査を受けるも軽傷で済み一安心であった。

今回のロードを振り返ると、選手とスタッフが一体となって挑んだ戦い、成果が残った。しかしながら残念であったのは、9月9日の欄でも申し上げた通り、ジュニア男子個人ロードでの折り返し地点におけるUターンを示す看板が、よく見えるところに表示していなかったり、その場所に関係スタッフがいなかったりと、これによる日本選手を含め他選手にも多大な影響がでたことで

ある。コミッセルの対応のまずさも残った大会であった。(三浦 廣信)

【競技結果】

第27回アジア選手権自転車競技大会

第14回ジュニアアジア選手権自転車競技大会 ロードレース(2007/09/08-10 タイ・ナコンラチャシマ)

男子エリート 個人タイムトライアル(42km)

- 1 WACKER Eugen KGZ 53:40.86
- 2 ASKARI Hossein IRI 55:06.04
- 3 TUYCHIEV Vladimir UZB 55:52.28
- 6 廣瀬 敏 石川・愛三工業 57:29.42

女子エリート 個人タイムトライアル(28km)

- 1 LI Meifang CHN 38:20.98
- 2 LEE Min Hye KOR 39:28.04
- 3 沖 美穂 JPCA・ワビ・メキニ 39:44.56

男子ジュニア 個人タイムトライアル(28km)

- 1 KHOSROSHAHI Behnam IRI 37:15.58
- 2 PELYAIGIN Yevgeniy KAZ 37:48.11
- 3 窪木 一茂 福島・学法石川 38:23.77

女子ジュニア 個人タイムトライアル(15km)

- 1 KIM Eun Hee KOR 22:27.13
- 2 FUCHIYANTI Yanthi INA 22:35.55
- 3 NUNTANA Supaksorn THA 23:00.03
- 5 針谷千紗子 栃木・作新学院 23:31.74

男子エリート 個人ロードレース(196km)

- 1 宮澤 崇史 長野・NIPPO 4:42:08
- 2 ASKARI Hossein IRI 4:42:08
- 3 CHAN Chun Hing HKG 4:42:26
- 5 廣瀬 敏 石川・愛三工業 4:44:50
- 23 鈴木 真理 JPCA・チム・ミヤ 4:56:55
- 24 盛 一大 愛知・愛三工業 4:56:55

女子エリート 個人ロードレース(108km)

- 1 MENG Lang CHN 3:04:33
- 2 ALIAS Noor Azian MAS 3:04:33
- 3 GU Sung Eun KOR 3:04:34
- 4 沖 美穂 JPCA・ワビ・メキニ 3:04:34
- 5 和田見里美 鳥取・中京大学 3:04:34
- 13 豊岡 英子 大阪 3:04:39
- 唐見実世子 JPCA・キーンCCD DNF

男子ジュニア 個人ロードレース(108km)

- 1 吉田 隼人 奈良・榛生昇陽 2:41:52
- 2 KHOSROSHAHI Behnam IRI 2:41:52
- 3 JANNAT Hamed IRI 2:41:52
- 22 窪木 一茂 福島・学法石川 2:41:52
- 30 嵐田 義明 埼玉・ブリヂストン 2:41:52

女子ジュニア 個人ロードレース(80km)

- 1 KIM Hye Rim KOR 2:18:51
- 2 SLOKOTOVICH Mariya KAZ 2:18:55
- 3 MUSTAPA Fatehah MAS 2:21:20
- 7 針谷千紗子 栃木・作新学院 2:21:20



文部科学大臣杯 第63回 全日本大学対抗選手権自転車競技大会

男子総合では日本大学が25連覇!

今年で63回の歴史を誇る“インカレ”が、静岡・日本CSCで開催された。近年、大学自転車競技は、選手権大会や強化・普及大会など、各目的に応じて年間約30大会が開催されており、学生競技者のレベルアップへ向けた取組みを実施している。そうした中でも、このインカレは各校最大目標とする大会であり、今年も総力を結集して4日間の熱戦が繰り広げられた。

男子トラックレースでは、近年稀にみる短距離陣の好記録ラッシュとなった。1kmタイムトライアルでは1分1ヶタ台が16名、1分08秒でも入賞できないレベルである。特に、今年注目を集めたのが土屋（順天堂大学）であり、他校強豪を破って1kmとスプリントの2種目を制覇した。さらに、チームスプリントでも順天堂大が大会記録で優勝したことで、土屋は3冠を達成になり、今後の大舞台での活躍が楽しみである。また、ポイントレースは長江（中央大学）が昨年に続き2連覇するなど、“常勝”チームである日本大学の

種目優勝は、チームパーシュート1種目にとどまり、大学対抗得点も非常に混戦模様となった。

女子トラックレースでは、短距離種目を沼部（順天堂大学）が、中長距離種目を石井（明治大学）が制す結果となった。今回のように女子トラック種目は上位が同メンバーとなることも多い現状であるが、今後さらに選手数も増え混戦によるレベルアップが望まれる。

男子ロードレースは、今年もCSC 5kmサーキットを28周するという、このコース最長クラスのレースとなった。こうした本格的なレース距離設定とすることで、それに向けた各選手日常練習が必要となり強化に繋がることに期待したい。レースは、序盤から渡辺将大（中央大学）、漆澤（日本大学）、片山（鹿屋体育大学）の3名が逃げを試み、最大で約3分40秒引き離すものの、レース中盤には集団もペース上げて逃げを追う。3名はついに吸収され、終盤残3周を切ってさらに数名が逃げる展開となり、ゴール前登りで抜け出し

た守澤（明治大学）が、4時間を越える激戦を制した。また、日本大学は着実に入賞・得点を重ね、この種目で連覇を確実にした。

女子ロードレースは、序盤から宮崎、萩原（ともに鹿屋体育大学）が抜け出し、同じチームという協力体制の下で集団との差を広げて行く。結局、後続に4分以上の大差をつけ2人でゴール、宮崎が見事に初優勝を飾った。この活躍により女子総合は鹿屋体育大が4連覇を果たした。

振り返れば、今年のインカレは非常に混戦であったと思われる。男子総合では、日本大学が25連覇を達成したものの、総合2位の明治大、3位の順天堂大など、着実に力をつけている。ロードでの選手層の厚さが決め手となったインカレ総合連覇であるが、今後は冒頭に述べた、学生競技者のレベルアップへ向けた取組みの中で、さらなる混戦時代の到来を感じた。

（倉田 達樹）



男子総合表彰式



女子総合表彰式



チームスプリントの順天堂大学



団抜優勝の日本大学



女子チームスプリントの順天堂大学



チームスプリント表彰式

【競技結果】

文部科学大臣杯第63回全日本大学対抗選手権自転車競技大会 (2007/8/30-9/2 静岡・日本CSC TR:北400m RR:5km)

男子1kmタイムトライアル

- 1 土屋 壮登 埼玉 順天堂大 1:06.429
- 2 城 幸弘 山梨 日本大学 1:06.784
- 3 湯浅 大輔 千葉 法政大学 1:06.954
- 4 佐藤 博紀 岩手 日本大学 1:07.772
- 5 朴 敏午 岩手 富士大学 1:07.795
- 6 佐々木吉徳 秋田 明治大学 1:08.410

男子ロードリフト

- 1 土屋 壮登 埼玉 順天堂大学
- 2 阿部 力也 宮城 日本大学
- 3 東矢 昇太 熊本 中央大学
- 4 朴 敏午 岩手 富士大学
- 5 西村 光太 三重 早稲田大学
- 6 佐々木吉徳 秋田 明治大学

男子ケイリン

- 1 高橋 韻旨 岐阜 法政大学
- 2 東矢 昇太 熊本 中央大学
- 3 井手 龍太 鹿児島 順天堂大学
- 4 岡本 光由 熊本 早稲田大学
- 5 市山 研 神奈川 明治大学
- 6 中村 健志 熊本 日本大学

男子4km個人追抜競走

- 1 穂苅 大地 新潟 法政大学 4:54.037
- 2 太田 貴明 京都 京都産大 4:57.917
- 3 川西 貴之 岐阜 日本大学 4:53.881
- 4 根本 哲吏 秋田 明治大学 4:55.032
- 5 篠原 力也 香川 鹿屋体大 5:05.091
- 6 井関 太一 岐阜 朝日大学 5:06.067

男子ホクトレース (40km)

- 1 長江 寿也 青森 中央大学 40p
- 2 守澤 太志 秋田 明治大学 38p
- 3 伊藤 雅和 鹿児島 鹿屋体育大学 38p
- 4 柴田 一樹 神奈川 朝日大学 35p
- 5 兼平 純 岩手 日本大学 29p
- 6 辻本 翔太 千葉 順天堂大学 21p

タテロードリフト

- 1 早稲田大学 安藤・工藤

- 2 法政大学 光富・一戸
- 3 明治大学 神・市山
- 4 東北学院大学 三浦・櫻井
- 5 鹿屋体育大学 奥田・金野
- 6 中央大学 鬼塚・小川

男子子ロードリフト

- 1 順天堂大学 石川・内田・土屋 1:18.377
- 2 早稲田大学 西村・岡本・澤口 1:19.177
- 3 東北学院大 三浦・山田・櫻井 1:20.108
- 4 法政大学 堀川・湯浅・川本 1:20.340
- 5 中央大学 奥原・鬼塚・東矢 1:19.375
- 6 明治大学 仲村・佐々木・市山 1:19.990

男子4km団体追抜競走

- 1 日本大学 小豆畑・川西・辻中・我妻 4:27.902
- 2 法政大学 池浦・高橋韻・三浦・穂苅 4:31.512
- 3 明治大学 根本・守澤・鈴木・湯浅 4:34.804
- 4 朝日大学 中島・井関・横関・横田 4:36.613
- 5 鹿屋体大 村上・奥田・大久保・篠原 4:33.299
- 6 順天堂大 岸本・辻本・土屋・山地 4:35.541

女子500mタイムトライアル

- 1 沼部早紀子 栃木 順天堂大学 37.960
- 2 栗原 瞳 埼玉 順天堂大学 38.848
- 3 石井 寛子 埼玉 明治大学 39.156
- 4 牛島 愛 熊本 日本体育大 39.591
- 5 川又 千裕 鹿児島 鹿屋体育大 40.581
- 6 加藤 真緒 鹿児島 鹿屋体育大 40.593

女子ロードリフト

- 1 沼部早紀子 栃木 順天堂大学
- 2 栗原 瞳 埼玉 順天堂大学
- 3 牛島 愛 熊本 日本体育大学
- 4 加藤 真緒 鹿児島 鹿屋体育大学
- 5 花山 千宏 宮城 日本体育大学
- 6 安藤 有希 東京 立教大学

女子3km個人追抜競走

- 1 石井 寛子 埼玉 明治大学 4:10.599
- 2 川又 千裕 鹿児島 鹿屋体大 4:17.437
- 3 井上 玲美 東京 法政大学 4:14.891
- 4 宮崎 杏菜 大分 鹿屋体大 4:20.467
- 5 平舘 美輝 岩手 法政大学 4:17.657
- 6 小淵 千恵 群馬 順天堂大 4:20.545

女子ホクトレース (16km)

- 1 石井 寛子 埼玉 明治大学 27p

- 2 栗原 瞳 埼玉 順天堂大学 14p
- 3 宮崎 杏菜 大分 鹿屋体育大学 12p
- 4 川又 千裕 鹿児島 鹿屋体育大学 11p
- 5 小淵 千恵 群馬 順天堂大学 5p
- 6 日暮 千早 鹿児島 鹿屋体育大学 4p

女子子ロードリフト

- 1 順天堂大学 沼部・栗原 59.226
- 2 鹿屋体育大 加藤・川又 1:03.001
- 日本体育大 花山・牛島 1:03.418
- 4 明治大学 石井・永田 1:03.719
- 5 立教大学 安藤・田中 1:06.281

男子個人ロードレース (140km)

- 1 守澤 太志 秋田 明治大学 4:16:45
- 2 後藤 辰徳 岐阜 日本大学 4:16:53
- 3 片山 和正 岡山 鹿屋体育大 4:16:54
- 4 飯塚 航 群馬 中央大学 4:16:57
- 5 大庭 伸也 宮城 日本大学 4:17:01
- 6 松田 究 北海道 早稲田大学 4:17:02
- 7 村出真一郎 鳥取 順天堂大学 4:17:03
- 8 越海 誠一 大分 日本大学 4:17:15
- 9 古山 智之 岐阜 京都産業大 4:17:49
- 10 大久保光次 鹿児島 鹿屋体育大 4:17:53

女子個人ロードレース (60km)

- 1 宮崎 杏菜 大分 鹿屋体育大 2:09:25
- 2 萩原麻由子 群馬 鹿屋体育大 2:09:26
- 3 石井 寛子 埼玉 明治大学 2:13:43
- 4 早坂ありさ 宮城 鹿屋体育大 2:13:45
- 5 川又 千裕 鹿児島 鹿屋体育大 2:13:57
- 6 井上 玲美 東京 法政大学 2:14:08
- 7 栗原 瞳 埼玉 順天堂大学 2:15:46
- 8 森 智恵美 京都 順天堂大学 2:16:47
- 9 手柴 敦子 沖縄 名桜大学 2:18:48
- 10 古川真理江 長野 信州大学 2:19:13

男子対抗得点

- 1 日本大学 67p
- 2 明治大学 53p
- 3 順天堂大学 47p

女子対抗得点

- 1 鹿屋体育大学 28p
- 2 順天堂大学 24p
- 3 明治大学 17p

日本航空

空で逢いましょう。



Dream Skyward.

JAL

ご予約・お問い合わせ www.jal.co.jp

国内線 ☎ 0120-25-5971
(営業時間 6:30~22:00/年中無休)

国際線 ☎ 0120-25-5931
(営業時間 8:00~21:00/年中無休)

第15回 三笠宮杯 ツール・ド・とうほく

去年に続き、男子は近畿高体連、女子はJCFチームが団体優勝!



第15回三笠宮杯ツール・ド・とうほくが8月17～19日に、秋田・岩手・宮城の3県において開催された。ツール・ド・とうほくは歴史が古く、前身である三笠宮杯東北一周自転車競走大会が昭和27年～46年まで、三笠宮東北自転車競走選手権大会が昭和47年、48年の2年間、その後、昭和49年～平成4年までの三笠宮杯東北地域自転車道路競走選手権大会を経て、平成5年にツール・ド・とうほくと名称を改め、今年で15年目を迎えたものの道路事情、警備上の問題などから現行の形としては今大会でピリオドを打つことになった。

さて、初日の個人タイムトライアルは霧雨の中、秋田県大湯村ソーラースポーツラインにおいて、女子の部、女子オープン、男子高校生、男子高校生オープンと順次競技が行われた。

女子の部は、豊岡英子（JCF）が前半から平均ペースを保ち、13分45秒75の好タイムで昨年に続き2連覇を飾った。また2位は12秒差で真下正美（JCF）、3位には1分8秒差で川又千裕（鹿屋体育大）が入った。

また、男子高校生の部は入部正太郎（近畿選抜）が27分44秒51で初優勝を果たした。また、2位には本馬陵（平工業高）、3位には早川朋宏（東海選抜）がそれぞれ入った。

2日目は小雨の中、岩手県紫波町東部特設集会コースにおいて、男子高校生、男子高校生オープン、女子の部、女子オープンと順次スタートした。

男子高校生の部は、前半から近畿・九州・関東高体連選抜が入り替わり先頭で集団を引っ張ったものの、ゴール前集団から吉田隼人（近畿選抜）が抜け出し1位、同僚の野口正則（近畿選抜）が2位となった。

また、女子の部は、2周回途中まで西加南子（マークM）、山口亮子（VOLCA）、村中恵美子（キヨ）の3人が他を大きく引き離れたが、最終周回直前に集団に吸収された。

残り4km地点で宮崎杏菜（鹿屋体育大）が集団からスパートし、そのまま逃げ切り1位でゴールした。残り1kmで集団を抜け出した片山梨絵（マークM）、豊岡がそれぞれ2位、3位に入った。

3日目最終日は舞台を仙台に移し、曇り空の下競技が行われた。この日は、午前9時15分に河北新報社前を出発し、競技スタート地点までパレード走行を行い、10時30分男子高校生の部が、10時36分女子の部がスタートした。

男子高校生の部は、常にレースを支配し

ていた近畿高体連選抜が抜群のレース運びをみせ、最終周回4人の先頭集団の中からゴールスプリントで入部が抜け出し最終ステージを制した。入部は個人総合でも優勝、近畿高体連選抜も2年連続5回目の優勝を飾った。

女子の部は、1周回途中から森本朱美（マークM）が果敢な逃げをみせ3周回まで後続集団に2分以上の差をつけていたが、最終周回後続集団に吸収され、ゴール1km手前から片山がスパートしそのままゴール。森本も2位となった。豊岡は4位でゴールしたが、初日、2日目のタイム差がものをいい個人総合2年連続2回目の優勝、団体もJCFチームが6連覇を果たした。（三浦 廣信）

【競技結果】

第15回三笠宮杯 ツール・ド・とうほく (2007/08/17-19 秋田/岩手/宮城)

男子高校生 第1ステージ (20km)

1	入部正太郎	奈良	近畿選抜	27:44.51
2	本馬 陵	福島	平工業高	28:15.32
3	早川 朋宏	愛知	東海選抜	28:28.52
4	堀内 俊介	神奈川	関東選抜	28:30.80
5	中村 政嗣	香川	四国選抜	28:48.70
6	寺山 健太	奈良	近畿選抜	28:56.05
7	吉田 隼人	奈良	近畿選抜	28:58.21
8	野口 正則	奈良	近畿選抜	28:59.99
9	平井 栄一	神奈川	関東選抜	29:04.28
10	熊坂 和也	北海道	尚志学園	29:04.43

男子高校生 第2ステージ (78.6km)

1	吉田 隼人	奈良	近畿選抜	2:07:11
2	野口 正則	奈良	近畿選抜	2:07:11
3	本馬 陵	福島	平工業高	2:07:12
4	森 啓	岐阜	東海選抜	2:07:12
5	清水 一弘	富山	北信越選抜	2:07:12
6	末永 周平	宮城	東北高校	2:07:15
7	藤村 純平	岩手	岩手選抜	2:07:17
8	鳥海 智大	東京	関東選抜	2:07:18
9	猪狩 昌悟	福島	平工業高校	2:07:18
10	安達 康将	福島	平工業高校	2:07:18

男子高校生 第3ステージ (90.0km)

1	入部正太郎	奈良	近畿選抜	2:19:18
2	本馬 陵	福島	平工業高校	2:19:18
3	早川 朋宏	愛知	東海選抜	2:19:18
4	清水 峻	大分	九州選抜	2:19:18
5	寺山 健太	奈良	近畿選抜	2:21:15
6	森 啓	岐阜	東海選抜	2:21:20
7	西田 大志	福岡	九州選抜	2:21:22
8	山國 渉	熊本	九州選抜	2:21:52
9	末永 周平	宮城	東北高校	2:24:08
10	野口 正則	奈良	近畿選抜	2:24:30

男子高校生 個人総合成績

1	入部正太郎	奈良	近畿選抜	4:54:07
2	本馬 陵	福島	平工業高校	4:54:33
3	早川 朋宏	愛知	東海選抜	4:55:04
4	清水 峻	大分	九州選抜	4:56:36
5	森 啓	岐阜	東海選抜	4:58:17
6	西田 大志	福岡	九州選抜	4:59:06
7	山國 渉	熊本	九州選抜	4:59:37
8	吉田 隼人	奈良	近畿選抜	5:00:29

9	野口 正則	奈良	近畿選抜	5:00:31
10	平井 栄一	神奈川	関東選抜	5:00:58

男子高校生 団体総合成績

1	近畿高体連選抜	14:52:21
2	九州高体連選抜	14:54:04
3	福島県立平工業高校	15:01:56
4	関東高体連選抜	15:02:51
5	青森県高体連選抜	15:05:01
6	岩手県高体連選抜	15:06:16

東北六県対抗

1	福島	福島県立平工業高校	15:01:56
2	青森	青森県高体連選抜	15:05:01
3	岩手	岩手県高体連選抜	15:06:16

女子 第1ステージ (10km)

1	豊岡 英子	大阪	JCF チーム	13:45.75
2	真下 正美	神奈川	JCF チーム	13:57.83
3	川又 千裕	鹿屋	鹿屋体大	14:53.91
4	酒井 真清	大阪	MarkM	14:54.96
5	片山 梨絵	神奈川	MarkM	15:10.06
6	宮崎 杏菜	大分	鹿屋体大	15:10.63
7	森本 朱美	鳥取	MarkM	15:12.56
8	日暮 千早	鹿屋	鹿屋体大	15:17.79
9	村中恵美子	東京	キヨミヤガワ	15:18.72
10	智野 真央	東京	JCF チーム	15:21.54

女子 第2ステージ (52.4km)

1	宮崎 杏菜	大分	鹿屋体育大	1:36:42
2	片山 梨絵	神奈川	MarkM	1:36:45
3	豊岡 英子	大阪	JCF チーム	1:36:46
4	山口 亮子	愛知	VOLCA	1:36:48
5	佐藤紗矢香	北海道	札幌選抜	1:36:48
6	酒井 真清	大阪	MarkM	1:36:51
7	早坂ありさ	宮城	鹿屋体育大	1:36:52
8	米田 和美	北海道	札幌選抜	1:36:53
9	川又 千裕	鹿屋	鹿屋体育大	1:36:53
10	志村みち子	埼玉	VOLCA	1:36:59

女子 第3ステージ (60 km)

1	片山 梨絵	神奈川	MarkM	1:46:48
2	森本 朱美	鳥取	MarkM	1:46:51
3	山口 亮子	愛知	VOLCA	1:47:04
4	豊岡 英子	大阪	JCF チーム	1:47:04
5	真下 正美	神奈川	JCF チーム	1:47:13
6	酒井 真清	大阪	MarkM	1:47:42
7	西 加南子	千葉	MarkM	1:49:05
8	佐藤紗矢香	北海道	札幌選抜	1:49:05
9	早坂ありさ	宮城	鹿屋体育大	1:49:08
10	篠崎奈緒子	埼玉	VOLCA	1:49:13

女子 個人総合成績

1	豊岡 英子	大阪	JCF チーム	3:37:31
2	真下 正美	神奈川	JCF チーム	3:38:10
3	片山 梨絵	神奈川	MarkM	3:38:27
4	森本 朱美	鳥取	MarkM	3:39:01
5	山口 亮子	愛知	VOLCA	3:39:17
6	酒井 真清	大阪	MarkM	3:39:27
7	川又 千裕	鹿屋	鹿屋体育大	3:41:01
8	西 加南子	千葉	MarkM	3:41:28
9	佐藤紗矢香	北海道	札幌選抜	3:41:46
10	米田 和美	北海道	札幌選抜	3:41:56

女子 団体総合成績

1	JCF チーム	7:15:46
2	Team MarkM	7:17:19
3	鹿屋体育大学	7:22:00

2007年MTB世界選手権大会

末政が2種目で入賞!



女子エリートの末政



XCRの竹谷(14)

2007年MTB世界選手権大会 日本代表選手団

大会名	2007年MTB世界選手権大会		
開催場所	イギリス・フォートウィリアム		
大会期間	2007年9月3日~9日		
派遣期間	2007年9月2日~11日		
派遣選手団			
監督	西井 匠 (JCF強化スタッフ)		
炊エック	白井 三善・仁木 康夫 (JCF強化スタッフ)		
選手			
<クロスカントリー>			
男子U17	竹谷 賢二	(千葉・SPECIALIZED)	
	辻浦 圭一	(奈良・プリヂェストンアンカー)	
男子U23	山本 幸平	(北海道・プリヂェストンアンカー)	
	小野寺 健	(京都・SUBARU GARYFISHER)	
男子ジュニア	霜山 誠一	(福島・保原高校)	
	中山 和也	(長野・丸子修学館高校)	
女子U17	片山 梨絵	(神奈川・TREK)	
<ダウンヒル>			
男子ジュニア	三木 洋介	(埼玉・越谷南高等学校)	
	門脇 祥	(新潟・新潟大学)	
女子U17	末政 実緒	(兵庫・FUNFANCY/INTENSE)	

●クロスカントリーチームリレー (XCR)

日本チームは今回が初エントリーであった。XCRは男子のエリート、U23、ジュニア、女子のエリート各1名の計4名で構成される。各選手が1周ずつ交代しながら走り、最終走者の着順によって順位が決まるレースである。このレースの面白さは、選手の出走順を各国が自由に決めることができることにある。すなわち、男子エリートを前半に投入して先行逃げ切りを狙う国もあれば、逆にアンカーとして一気に追上げる国もあるなど、戦略的要素が非常に強いのである。そのため最終周に大逆転劇が見られるなど、観客も参加者もたいへん興奮するレースである。

今回日本チームの作戦はU23、男子エリート、男子ジュニア、女子エリートの順とし、先行逃げ切り型で挑んだ。第1走者の山本幸平から第3走者の中山和也まで10位前後を維持するものの、最終走者の片山はアンカーにU23や男子エリートを配置している国に抜かれ13位でゴールした。

●クロスカントリー (XCO)

クロスカントリーには竹谷賢二、辻浦圭一(以上男子エリート)、山本幸平、小野寺健(以上男子U23)、霜山誠一、中山和也(以上男子ジュニア)、片山梨絵(女子エリート)が参加した。結果は山本の20位が最高であった。山本の順位は昨年(ニュージーランド)と同じであったが、参加者数の多いヨーロッパ圏での大会でも同じ順位でゴールできたことは、まずまずの結果だと思われる。

●フォークロス (4X)

4Xには末政実緒がエントリーした。末政は本年のワールドカップ同種目で3度も4位に入賞しており、世界戦での表彰台

が期待された。予選を8位で通過した末政は準々決勝を無難に勝ち進んだが、準決勝で他の選手と接触して失速、決勝進出を逃してしまった。しかし5-8位決定戦では他を寄せ付けない走りで1着を取り、見事5位入賞を果たした。

●ダウンヒル (DHI)

ダウンヒルには末政実緒(女子エリート)、門脇祥、三木洋介(以上男子ジュニア)がエントリーした。末政は予選を9位で通過したが、決勝では果敢に攻め続け6位に入賞した。男子ジュニアの2名は予選で転倒し55位(門脇)、60位(三木)であったが、決勝でも転倒を恐れず攻め続けるように指示した。残念ながら決勝でも転倒してしまい成績には結びつかなかったが、果敢に攻める姿勢を見せたことは評価したい。

●まとめ

今回の世界選手権では末政が2種目で入賞を果たすなど、良い結果を残せたと思う。特に体力面を改善すればより好成績が望めると予想されるので、今後はその強化を重点的に行なうべきだろう。XCOでは中国の女子選手がU23で1-2フィニッシュ、エリートでも3位に入賞するなどアジア人の可能性を示してくれた。今後は我々日本人も活躍できるように頑張っていきたい。(MTB小委員会 西井 匠)

【競技結果】

2007年MTB世界選手権大会
(2007/09/03-09 ｲｷﾞﾘｽ・ﾌｫｰﾄﾞウィリアム)

クロスカントリー チームリレー (31.3km)

1	スイス	SUI	1:33:36
2	ポーランド	POL	1:34:25
3	アメリカ	USA	1:34:45
13	日本	山本・竹谷・中山・片山	1:41:43

クロスカントリー男子U17 (51.4km)

1	ABSALON Julien	FRA	2:17:06
2	NAEF Ralph	SUI	2:17:32
3	VOGEL Florian	SUI	2:18:00
56	竹谷 賢二	千葉 Specialized	2:28:53
79	辻浦 圭一	奈良 アンカー	2:38:28

クロスカントリー女子U17 (34.2km)

1	KALENTIEVA Irina	RUS	1:44:08
2	SPITZ Sabine	GER	1:44:47
3	WANG Jingjing	CHN	1:45:50
45	片山 梨絵	神奈川 TREK	1:58:48

クロスカントリー男子U23 (42.8km)

1	FUGLSANG Jakob	DEN	1:54:04
2	SCHURTER Nino	SUI	1:55:48
3	KULHAVY Jaroslav	CZE	1:57:25
20	山本 幸平	北海道 アンカー	2:02:55
44	小野寺 健	北海道 Subaru	2:09:29

クロスカントリー男子ジュニア (34.2km)

1	LITSCHER Thomas	SUI	1:37:06
2	BRZOZKA Piotr	POL	1:37:33
3	FLETCHER David	GBR	1:37:47
62	中山 和也	長野 丸子修学館	1:50:22
82	霜山 誠一	福島 保原高	1:59:37

ダウンヒル女子U17 (2.82km)

1	JONNIER Sabrina	FRA	5:28.35
2	ATHERTON Rachel	GBR	5:32.36
3	HANNAH Tracey	AUS	5:39.89
6	末政 実緒	兵庫 Funfancy	5:48.62

ダウンヒル男子ジュニア (2.82km)

1	CUNNINGHAM Ruaridh	GBR	5:06.82
2	SWANGUEN John	USA	5:08.89
3	SCOLES Matthew	NZL	5:09.27
48	門脇 祥	新潟 新潟大	6:02.16
52	三木 洋介	埼玉 越谷南高	6:12.07

4人制女子

1	KINTNER Jill	USA
2	BEERTEN Anneke	NED
3	BUHL Melissa	USA
5	末政 実緒	兵庫 Funfancy

第42回 全国都道府県対抗自転車競技大会

男子は三重、女子は香川が総合優勝!



【競技結果】

第42回全国都道府県対抗自転車競技大会
(2007/8/26-28 大分・日田市オートホリ
/別府競輪場)

男子個人ロードレース(120.8km)

1	片山 和正	岡山	3:18:35
2	山下 貴宏	兵庫	3:18:36
3	辻 善光	大阪	3:19:26
4	涌本 正樹	大阪	3:19:56
5	圓谷 崇	新潟	3:20:02
6	内間 康平	沖縄	3:20:05
7	向川 尚樹	大阪	3:24:33
8	津末 浩平	大分	3:24:45
9	小段 亮	長崎	3:24:45
10	棟久 明博	山口	3:24:46

女子個人ロードレース(62.6km)

1	山島 由香	大阪	1:59:57
2	牧瀬 翼	福岡	2:00:33
3	宮崎 杏菜	大分	2:02:05
4	星川 恵利奈	香川	2:05:01

5	明珍 裕子	鹿児島	2:05:58
6	近藤 美子	愛知	2:08:12
7	中山 朋子	神奈川	2:08:23
8	廣本 茜梨	大分	2:09:19
9	武田 和佳	埼玉	2:11:08
10	池部 真知	大分	2:11:12

成年男子1kmタイムトライアル

1	西村 光太	三重	1:08.585
2	矢野 賢児	高知	1:09.392
3	古川 宗行	茨城	1:10.581
4	徳丸 泰教	兵庫	1:11.098
5	市村 彰	宮崎	1:12.704
6	矢代 慎吾	富山	1:13.543

少年男子1kmタイムトライアル

1	新納 大輝	鹿児島	1:09.928
2	加藤 正法	愛知	1:10.152
3	利根 正明	大分	1:10.296
4	佐々木 龍	神奈川	1:10.385
5	柿澤 大貴	長野	1:10.825
6	岡田 啓波	愛媛	1:10.841

男子スプリント

1	山崎 功也	秋田
2	河端 朋之	鳥取
3	小川 海斗	三重
4	下沖 功児	宮崎
5	森 啓	岐阜
6	近藤 寛央	茨城

成年男子ポイントレース(30km)

1	西山 友宏	福井	38p
2	圓谷 崇	新潟	38p
3	大西 周太	兵庫	33p
4	宮原 哲弥	福岡	19p
5	小段 亮	長崎	14p
6	山田 哲治	高知	11p

少年男子ポイントレース(24km)

1	澤田 賢匠	京都	47p
2	小山真太郎	熊本	47p
3	新井 由郁	埼玉	13p
4	上田 龍孝	大分	11p
5	風神 有吾	和歌山	9p
6	中村 政嗣	香川	7p

男子4km団体追抜

1	岐阜 高橋・岡崎・加藤・吉田	4:32.170
2	大分 明珍・利根・上田・魚屋	4:39.957
3	大阪 涌本・辻・向川・元砂	4:42.419
4	新潟 圓谷・武田・大崎・小黒	4:44.243
5	和歌山 風神・菅尾・藤本・森	4:46.718
6	埼玉 新井由・小巻・新井翔・中尾	4:49.948

男子チームスプリント

1	三重 西村・小川・若松	1:18.936
2	熊本 古庄・野口・小山	1:21.602
3	鹿児島 新納・豊住・有川	1:20.818
4	高知 矢野・水木・神野	1:21.831
5	宮崎 黒木・下沖・東	1:21.998
6	秋田 山崎・小田島・田澤	1:22.187

女子500mタイムトライアル

1	松本 世良	鳥取	38.875
2	前田佳代乃	兵庫	39.107
3	石川菜々子	香川	39.126
4	和地 恵美	茨城	39.296
5	近藤 美子	愛知	40.141
6	越田恵美子	石川	41.021

女子ポイントレース(16km)

1	宮崎 杏菜	大分	30p
2	石川菜々子	香川	20p
3	大塚 沙織	大阪	16p
4	木村 亜美	香川	5p
5	廣本 茜梨	大分	4p
6	堀 友紀代	神奈川	4p

男子総合得点

1	三重	38p
2	大阪	33p
3	大分	33p

女子総合得点

1	香川	24p
2	大分	22p
3	大阪	14p

第24回シマノ鈴鹿国際ロードレース大会



【競技結果】

第24回シマノ鈴鹿国際ロードレース大会
(2007/08/26 三重・鈴鹿サーキット)

個人ロードレース (58.21km)

- | | | | |
|----|--------------------|--------------|------------|
| 1 | Paul van Schalen | HOL | 1:17:46.64 |
| 2 | 三船 雅彦 | JPCA マトリックス | 1:17:46.73 |
| 3 | Ronan van Zandbeek | HOL | 1:17:46.78 |
| 4 | 西谷 泰治 | 愛知 愛三工業 | 1:17:46.95 |
| 5 | 飯島 誠 | JPCA BSアンカー | 1:17:47.06 |
| 6 | 野口 忍 | 京都 MarcoPolo | 1:17:47.09 |
| 7 | 品川 真寛 | 京都 スキル・シマノ | 1:17:47.14 |
| 8 | 藤岡 徹也 | 兵庫 SILBEST | 1:17:47.21 |
| 9 | 米山 一輝 | 茨城 平和 | 1:17:48.37 |
| 10 | 福田 真平 | 神奈川 MIYATA | 1:17:48.58 |

未永くお付き合いいただくために。



シマノ製品をご愛用いただきまして

ありがとうございます。

シマノではユーザーの皆様へ、当社製品と

未永くお付き合いいただけるよう、

各種補修用パーツをご用意しております。

- 製品についている取扱説明書をご使用前に必ずお読みください。
- 機能保証のために分解できないパーツもあります。
- お近くの自転車店でご相談下さい。別途送料がかかる場合があります。
- 在庫状況により、品切れの場合もあります。予めご了承下さい。

SHIMANO

www.shimano.com

XBC001-A

競技大会 結果

大会名、チーム名等については略して記載

第48回全日本学生選手権自転車競技大会 (2007/07/28-29 福島・泉崎)掲載追加分

男子ポイントレース (40km)

1	守澤 太志	秋田 明治大学	63p
2	巴 直也	神奈川 中央大学	28p
3	大庭 伸也	宮城 日本大学	26p
4	島田 真琴	東京 法政大学	25p
5	兼平 純	岩手 日本大学	23p
6	鈴木 信啓	福島 明治大学	17p

2007トラック・アジアカップ タイラウンド (2007/08/11-12 タイ・バンコク)

男子1kmタイムトライアル

1	及川 裕奨	JPCA・岩手	1:05.817
2	BAE Jeong Hyeon	KOR	1:06.714
3	Alirez Ahmady	IRI	1:07.145

男子1kmタイムトライアル

1	Mohd Azizulhasni Bin Awang	MAS
2	CHOI Lae Seon	KOR
3	PARK Su Hyun	KOR
4	田中 晴基	JPCA・千葉
8	石橋慎太郎	JPCA・静岡

男子1kmタイムトライアル

1	伏見 俊昭	JPCA・福島
2	石橋慎太郎	JPCA・静岡
3	Mohammad Aboheidari	IRI

男子1kmタイムトライアル

1	Seyed Mostafa Seyed Rezaei	IRI	60p
2	Youm Jung Hwan	KOR	50p
3	飯島 誠	JPCA・BSアンカー	48p
6	角 令央奈	兵庫・鹿屋体大	19p

男子1kmタイムトライアル

1	韓国	22p
2	日本 飯島・角	16p
3	ホンコン・チャイ	13p

男子1kmタイムトライアル

1	中国	1:02.393
2	日本 及川・石橋・伏見	1:03.016
3	マレーシア	1:03.419

女子1kmタイムトライアル

1	Hsiao Mei Yu	TPE	37.120
2	MANEEPHAN Jutatip	THA	37.457
3	LEE Wai Sze	HKG	37.758
4	沼部早紀子	栃木・順天堂大	38.058

女子1kmタイムトライアル

1	LULU Zheng	CHN
2	JINJIE Gong	CHN
3	MANEEPHAN Jutatip	THA
5	沼部早紀子	栃木・順天堂大

女子1kmタイムトライアル

1	SON Hee June	KOR
2	BOONSAWAT Suthaeat	THA
3	石井 寛子	埼玉・明治大学

女子1kmタイムトライアル

1	HA Seon Ha	KOR	3:57.450
2	Leow Hoay Sim	MAS	3:59.198
3	NONTHASIN Chanpeng	THA	4:03.362
5	石井 寛子	埼玉・明治大学	4:08.01

女子1kmタイムトライアル

1	YAN Li	CHN	27p
2	Son Hee June	KOR	24p
3	HA Seon Ha	KOR	18p
4	石井 寛子	埼玉・明治大学	10p

女子1kmタイムトライアル

1	タイ	48.811
2	ホンコン・チャイ	50.049
3	日本 石井・沼部	49.983

2007マウンテンバイク・マソン世界選手権 (2007/08/12 ベルギー・Verviers)

男子MTBマソン (100km)

1	SAUSER Christoph	SUI	4:23:06
2	PAULISSEN Roel	BEL	+0:05:23
3	DIETSCH Thomas	FRA	+0:07:26
93	山田大五郎	福岡・福砂屋	+1:15:57

MTBジャパンシリーズ J1 白鳥 DHI#3 (2007/08/18-19 岐阜・白鳥)

DHI男子1kmタイムトライアル (2.07km)

1	安達 靖	愛知 Ikuzawa	3:04.971
2	内嶋 亮	東京 G-cross	3:05.523
3	向原 健司	大阪 KHS	3:07.768
4	和田 良平	神奈川 ringoroad	3:08.607
5	柴田 幸治	神奈川 A&F	3:09.239
6	青木 卓也	東京 GIANT	3:09.398
7	永田 隼也	神奈川 G-cross	3:10.533
8	三宅 和之	埼玉 KHS	3:13.018
9	櫻井 孝太	愛知 櫻井孝太	3:14.080
10	大島 礼治	兵庫 bass sound	3:15.899

DHI女子1kmタイムトライアル (2.65km)

1	渡辺 キャリ	長野 Cannondale	4:22.816
2	猪俣 浩子	神奈川 KOOWHO	4:23.272
3	飯塚 朋子	大阪 ATOMIC	4:25.315
4	末政 実緒	兵庫 Funfancy	4:25.960
5	中川 ヒロカ	大阪 Commencal	4:27.702
6	尾芦 資子	東京 風魔吉祥寺	4:33.737
7	池田 恭子	東京 Cannondale	4:33.925
8	大西 雅美	兵庫 TeamYRS	4:35.997
9	佐藤 百江	東京 WORKS-1	4:38.005
10	富田 敬子	奈良 mtb garage	4:40.291

第4回全日本実業団サイクルロードレース in 小川 (2007/08/19 長野・小川)

BR-1 (76.7km)

1	西谷 雅史	東京 チームオーベスト	2:39:30
2	野寺 秀徳	JPCA シムレーシング	2:40:01
3	狩野 智也	JPCA シムレーシング	2:40:25
4	鎌田 圭介	東京 ヲバノ	2:40:39
5	中村 誠	石川 チームミヤタ	2:40:48
6	鈴木 謙一	愛知 愛三工業	2:41:08
7	篠崎 友	千葉 SERENO	2:42:08
8	筧 五郎	長野 アイランド信濃	2:43:05

9	山本 和弘	北海道 キャノンテール	2:43:25
10	下林 伸行	兵庫 クラフツィルバスト	2:44:18

BR-2 (60.4km)

1	島田 暁生	東京 チームオーベスト	2:14:27
2	中野清太郎	東京 CWS	2:15:07
3	新井 剛	東京 チームスナップ	2:15:36
4	原田雄太郎	埼玉 メイストーム	2:17:27
5	小久保俊介	東京 Vitesse	2:18:01
6	長 義幸	大阪 同志社大学	2:18:07
7	五百旗頭 晃	東京 チームオーベスト	2:18:11
8	船岡 洋	兵庫 Testach	2:18:17
9	新開 竜太	東京 メイストーム	2:18:32
10	織田 武志	神奈川 Comrade	2:20:01

BR-3 (44.1km)

1	小野口健太	東京 なるしま	1:40:16
2	田崎 友康	新潟 PIAA	1:42:25
3	田中 剛	愛知 まるいち	1:43:08
4	松嶋 太一	東京 YOU CAN	1:43:20
5	萩野 貴史	長野 日本アイランド	1:43:23
6	山崎 嘉貴	石川 ダイハツボクシング	1:44:00
7	安藤 光平	東京 FITTE	1:44:08
8	川村 宏樹	山梨 ダイハツボクシング	1:44:12
9	岩月 信夫	愛知 BREZZA	1:44:17
10	平田 光則	大阪 アノスタタムラ	1:44:27

女子 (27.8km)

1	堀内美八子	福井 BALBA	1:21:21
---	-------	----------	---------

2007パラサイクリング世界選手権大会 (2007/8/19-27 フランス・ポルドー)

男子1kmタイムトライアル CP4

1	石井 雅史	JPN	1:09.274
2	BOUSKA, Jiri	CZE	1:10.836
3	SCOTT, Chris	AUS	1:12.192

男子3km個人追抜競走 CP4

1	SCOTT, Chris	AUS	3:38.724
2	石井 雅史	JPN	3:41.318
3	DEACON, Tren t	AUS	3:43.783

男子1kmタイムトライアル LC3

1	LIANG, Gui Hua	CHN	1:18.266
2	藤田 征樹	JPN	1:18.811
3	THIRIONNET, Lauren	FRA	1:18.874

男子タイムトライアル B&VI

1	A.KAPPES/R.STOREY	GBR
2	B.DEMERY/S.HOPKINS	AUS
3	K.MODRA/T.Lawrwenc	AUS
4	大城 竜之 / 高橋 仁	JPN

男子1kmタイムトライアル B&VI

1	A.KAPPES/R.STOREY	GBR	1:03.347
2	B.DEMERY/S.HOPKINS	AUS	1:03.464
3	K.MODRA/T.LAWRWENCE	AUS	1:05.058
6	大城 竜之 / 高橋 仁	JPN	1:06.172

男子3km個人追抜競走 LC3

1	GRAF, Tobias	GER	3:58.565
2	THIRIONNET, Laurent	FRA	3:58.885
3	GARCIA, Antonio	ESP	4:01.542
7	藤田 征樹	JPN	4:07.623

男子1kmタイムトライアル LC2

1	CUNDY, Jody	GBR	1:07.719
2	JEZEK, Jiri	CZE	1:11.845
3	GRANADO, Amador	ESP	1:11.856
13	古畑 俊男	JPN	1:18.705

男子 3km 個人追抜競走 LC2

1	BOYEN, Jan	BEL	4:55.856
2	ALCAIDE, Roberto	ESP	4:59.291
3	JEZEK, Jiri	CZE	5:01.815
12	古畑 俊男	JPN	5:18.972

男子 1km タイムトライアル LC1

1	GALLAGHER, Michael	AUS	1:09.000
2	HAMMER, Mario	GER	1:09.992
3	EIBECK, Wolfgang	AUT	1:10.552
20	佐久間明夫	JPN	1:16.557

男子ロードレース CP2 (19.8km)

1	STONE David	GBR	38:24
2	WINTERLEITNER Helmut	AUT	40:18
3	LEFLOHIC Mark	AUS	42:30
4	小川 睦彦	JPN	42:50

男子ロードレース CP4 (69.3km)

1	石井 雅史	JPN	1:53:46
2	NEIRA César	ESP	1:53:47
3	ALCAINE Michel	FRA	1:53:47

男子ロードレース BVI (108.9km)

1	KOSIKOWSKI KORC	POL	2:35:59
2	JANOVJAK MITOSINKA	SVK	2:37:23
3	EYMARD GODIMUS	BEL	2:38:07
20	大城 竜之 / 高橋 仁	JPN	2:47:44

男子ロードレース LC2 (69.3km)

1	JEZEK Jiri	CZE	1:46:07
2	NOVAK Carol Eduard	ROM	1:48:20
3	SERRIERE Séastien	FRA	1:54:15
14	古畑 俊男	JPN	2:03:31

男子ロードレース HCC (49.5km)

1	VAN DYK Ernst	RSA	1:27:23
2	KOCH Norbert	GER	1:27:23
3	ALBOR Alejandro	USA	1:27:25
11	奥村 道彦	JPN	1:30:39

男子ロードレース LC3 (59.4km)

1	GRAF Tobias	GER	1:46:00
2	GARCIA Antonio	ESP	1:46:00
3	MARQUEZ Victor Hugo	VEN	1:46:00
9	藤田 征樹	JPN	1:46:03

男子個人タイムトライアル CP2 (9.9km)

1	STONE David	GBR	17:51.92
2	WINTERLEITNER Helmut	AUT	18:46.64
3	小川 睦彦	JPN	19:38.15

男子個人タイムトライアル CP4 (19.8km)

1	LUNGERSHAUSEN Klaus	GER	27:50.55
2	BOUSKA Jiri	CZE	27:57.62
3	SCOTT Christopher	AUS	28:15.85
8	石井 雅史	JPN	29:01.59

男子個人タイムトライアル BVI (29.7km)

1	VENGE LLAURADO	ESP	36:21.80
2	BLANCO MORALES	ESP	37:21.42
3	MODRA LAWRENCE	AUS	37:54.03
18	大城 竜之 / 高橋 仁	JPN	40:13.51

男子個人タイムトライアル HCC (9.9km)

1	VAN DYK Ernst	RSA	15:21.16
2	ALBOR Alejandro	USA	15:50.80
3	DIAGO Vicente	ESP	16:06.75
18	奥村 道彦	JPN	17:51.13

男子個人タイムトライアル LC1 (19.8km)

1	EIBECK Wolfgang	AUT	26:24.31
2	SACHER Wolfgang	GER	26:56.11
3	TRIBOLI Fabio	ITA	27:07.46
30	佐久間明夫	JPN	32:29.68

男子個人タイムトライアル LC2 (19.8km)

1	BOYEN Jan	BEL	27:23.41
2	JEZEK Jiri	CZE	27:29.05
3	ALCAIDE Roberto	ESP	27:42.30
16	古畑 俊男	JPN	30:39.76

男子個人タイムトライアル LC3 (19.8km)

1	THIRIONNET Laurent	FRA	29:18.26
2	MACCHI Fabrizio	ITA	30:19.48
3	GARCIA Antonio	ESP	30:24.53
7	藤田 征樹	JPN	31:45.60

MTB北京プレオリンピック 日本代表選手団

大会名 2007国際マウンテンバイク招待レース (北京大会)

開催場所 中華人民共和国・北京

大会期間 2007年9月22日

派遣期間 2007年9月19日～22日

派遣選手団

監督 西井 匠 (JCF強化スタッフ)

選手 クロスカントリー

男子リト 竹谷 賢二 (千葉・SPECIALIZED)

女子リト 片山 梨絵 (神奈川・TREK)

2007 ジロ・デ・バジリカータ
日本代表選手団大会名 2007ジロ・デ・バジリカータ
(UCIMJ-2.1)

開催場所 イタリア・バジリカータ

大会期間 2007年9月14日～16日

派遣期間 2007年9月11日～19日

派遣選手団

監督 堀 芳彰 (JCFジュニア支援スタッフ)

コーチ 班目真紀夫 (JCFジュニア支援スタッフ)

メカニック 中島 康仁 (JCFロード支援スタッフ)

選手 清水 一弘 (富山・氷見高校)

本馬 陵 (福島・平工業高校)

逢坂 弘紀 (青森・青森山田高校)

早川 朋宏 (愛知・名城大学附属高校)

清水 峻 (大分・日出場谷高校)

西田 大志 (福岡・祐誠高校)

2007年ロード世界選手権大会 日本代表選手団

大会名 2007年ロード世界選手権大会

開催場所 ドイツ・シュツットガルト

大会期間 2007年9月25日～30日

派遣期間 2007年9月19日～10月2日

派遣選手団

監督 フレデリック・マニエ (JCFナショナルディレクター)

コーチ 三浦 恭資 (JCF強化コーチ)

メカニック 中島 康仁 (JCFロード競技部会支援スタッフ)

マッサー セルジョ・ピアンキ・ベック・ジュエルゲン

通訳 三浦由美子

選手

男子リト 別府 史之 (JPCA・ディスカバリーチャンネル)

新城 幸也 (沖縄・NIPPO・梅丹・エキップASADA)

宮澤 崇史 (長野・NIPPO・梅丹・エキップASADA)

女子リト 沖 美穂 (JPCA・ワナビー)

男子U23 初山 翔 (神奈川・キャノンデール・ディアドラ)

片山 和正 (岡山・鹿屋体育大学)

畑中 勇介 (東京・プリヂストンアンカー)

男子エリート スプリント1位の北津留(中央)と2位の渡邊



連盟の動き (8月中旬～9月下旬)

- | | | |
|-------|------------------------------|-------------------------|
| 8月20日 | アジア・ジュニアアジア選手権直前強化合宿 | 於：静岡・日本CSC(～29日) |
| 22日 | 平成19年度第4回広報部会 | 於：東京・日本自転車会館3号館3階 |
| 24日 | 平成19年度第2回常務理事会 兼 選手強化本部会 | 於：東京・日本自転車会館3号館4階 |
| 30日 | 2007年アジア選手権日本代表選手団トラック組出発 | 於：タイ・バンコク 帰国→9/8 |
| 9月2日 | 2007年MTB世界選手権大会日本代表選手団出発 | 於：イギリス・フォートウィリアム 帰国→11日 |
| 3日 | 2007年アジア選手権日本代表選手団ロード組出発 | 於：タイ・ナコンラチャシマ 帰国→12日 |
| 5日 | UCIセミナー国内審判員指導者講習会およびロードセミナー | 於：タイ・バンコク/ナコンラチャシマ(～9日) |
| 11日 | 2007年ジロ・デ・バジリカータ日本代表選手団 | 於：イタリア・バジリカータ 帰国→19日 |
| 11日 | 平成19年度第2回総務委員会 | 於：東京・日本自転車会館3号館4階 |
| 18日 | 平成19年度第3回常務理事会 兼 選手強化本部会 | 於：東京・日本自転車会館3号館4階 |
| 19日 | 2007国際マウンテンバイク招待レース日本代表選手団 | 於：中国・北京 帰国→23日 |
| 19日 | 2007年ロード世界選手権大会日本代表選手団出発 | 於：ドイツ・シュツットガルト 帰国→10/2 |
| 21日 | 平成19年度第3回理事会 | 於：東京・日本自転車会館3号館4階 |

< JCF オフィシャル・スポンサー >



< JCF オフィシャル・サプライヤー >



シクリスムエコー No.142 2007年9月号

発行/財団法人日本自転車競技連盟

発行人/岩楯昭一

編集人/加藤 昭

編集事務局/財団法人日本自転車競技連盟事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-9-3 日本自転車会館内

TEL03-3582-3713 FAX03-5561-0508 <http://www.jcf.or.jp/>